

【第 1 回事後テスト】

ID ()

各問の文章を読んで、講義内容に照らして□に最もふさわしい言葉を選択肢の中から選び、番号をご記入ください。(講義資料をご覧くださいても結構です)

<AMED の設立経緯>

問 1. AMED は、□ A □ の展開に関するマネジメント不足やデータ管理、知財、倫理等の研究支援体制と □ B □ の不足に起因する国際競争力の低下、規模が小さくベンチャー企業の不足による実用化の壁、国の □ C □ といった課題が指摘され、平成 27 年 4 月に基礎的な研究開発から実用化のための研究開発まで一貫した研究開発を推進し、その成果の円滑な実用化を目指して設立された。

(選択肢)

- | | | | |
|------------|--------|----------|---------|
| A : ①研究データ | ②研究成果 | ③研究体制 | ④研究機関 |
| B : ①知識 | ②人材 | ③研修 | ④研究費 |
| C : ①人材の不足 | ②予算の削減 | ③相談窓口の不足 | ④縦割りの支援 |

答 1. A () B () C ()

<AMED の機能>

問 2. AMED は、医療に関する研究開発の実施では外部の当該又は関連分野の有識者を PD (プログラムディレクター) や PO (プログラムオフィサー) 等を活用して研究事業の運営や課題の進捗管理等の □ D □ 機能を強化し、臨床研究等の基盤整備として専門人材の □ E □ や産業化に向けた支援として企業への情報提供・ □ F □ 等が特徴である。

(選択肢)

- | | | | |
|------------|----------|---------|---------|
| D : ①研究実施 | ②監査 | ③マネジメント | ④育成 |
| E : ①研修受講 | ②派遣支援 | ③配置支援 | ④不正防止教育 |
| F : ①マッチング | ②カウンセリング | ③専門家派遣 | ④研修受講 |

答 2. D () E () F ()

(次ページに続く)

ご協力ありがとうございます。

＜厚生労働省と AMED の関係＞

問 3. AMED では各事業の PSPO とともに AMED 職員（医療職メイン）が や を検討する際には、カウンターパートの厚生労働省部局の担当技官等に適宜 し、PS・PO 会議等の を決める会議に厚生労働省担当技官等も出席している。なお、AMED の予算要求は原則、 が行う。

(選択肢)

- | | | | |
|--------------|---------|--------|---------|
| G : ①新規公募課題 | ②新規海外事業 | ③海外視察 | ④専門人材支援 |
| H : ①中間評価 | ②評価委員 | ③追加交付 | ④事後評価 |
| I : ①事後報告 | ②メール | ③電話 | ④連絡・相談 |
| J : ①AMED 役員 | ②方針 | ③採択課題 | ④政策 |
| K : ①AMED | ②内閣官房 | ③厚生労働省 | ④財務省 |

答 3. G () H () I () J () K ()

＜厚生労働科学研究の類型＞

問 4. 厚生労働科学研究のうち、あらかじめ研究の成果目標及び計画を策定した後に募集し採択するのは 型であり、研究課題に対して提案された内容について研究者との対話を重ねて詳細な研究計画に改善し、次年度以降に当該研究計画に従い研究を実施するのは 型であり、より確実で優れた成果を目指して当該研究課題の実施者を指定するのは 型であり、申請者が年齢を条件とすることにより、将来の厚生労働科学研究を担う研究者を育成するのは 型でありこれら以外で最も採択件数が多いのは 型である。

(選択肢)

- ①指定 ②一般公募 ③戦略 ④若手育成 ⑤プロジェクト提案

答 4. L () M () N () O () P ()

＜厚生労働科学研究の追加交付＞

問 5. 当該年度の研究課題のうち、当初の研究計画にはないが、その課題に研究費を追加して実施する内容が緊急性を要し、 の活用時期及び活用方法等が明確であるものの場合、原則、 に厚生科学課との調整を経て、追加交付が可能となっている。

(選択肢)

- | | | | |
|-------------|--------|---------|---------|
| Q : ①データ | ②成果 | ③実施内容 | ④追加交付額 |
| R : ①6月、12月 | ②5月、9月 | ③4月、10月 | ④8月、11月 |

答 5. Q () R ()

ご協力ありがとうございます。

【第 1 回受講後アンケート】

2019 年●月●日 ID ()

本日はお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。

本日の内容に関する以下の問いについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1) 本日の説明内容はどの程度分かりやすかったですか。

1. 非常に分かりやすかった 2. やや分かりやすかった 3. ふつう
4. やや分かりにくかった 5. 非常に分かりにくかった

2) 厚生労働科学研究費と AMED 研究費の違いについて理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

3) AMED の設立経緯と機能について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

4) 厚生労働省と AMED の関係について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

5) 厚生労働省と AMED の年間スケジュールについて理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

6) 厚生労働科学研究の種類や追加交付の仕組みについて理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

7) 厚生労働科学研究の窓口（科学技術調整官等）について知ることができましたか。

1. はい 2. いいえ

8) 厚生労働科学研究や AMED 研究成果の DB 及び活用方法について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

(次ページに続く)

第2回 DNPプロジェクト研究 「看護系技官の研究費や事業費等の 活用に関する役割」

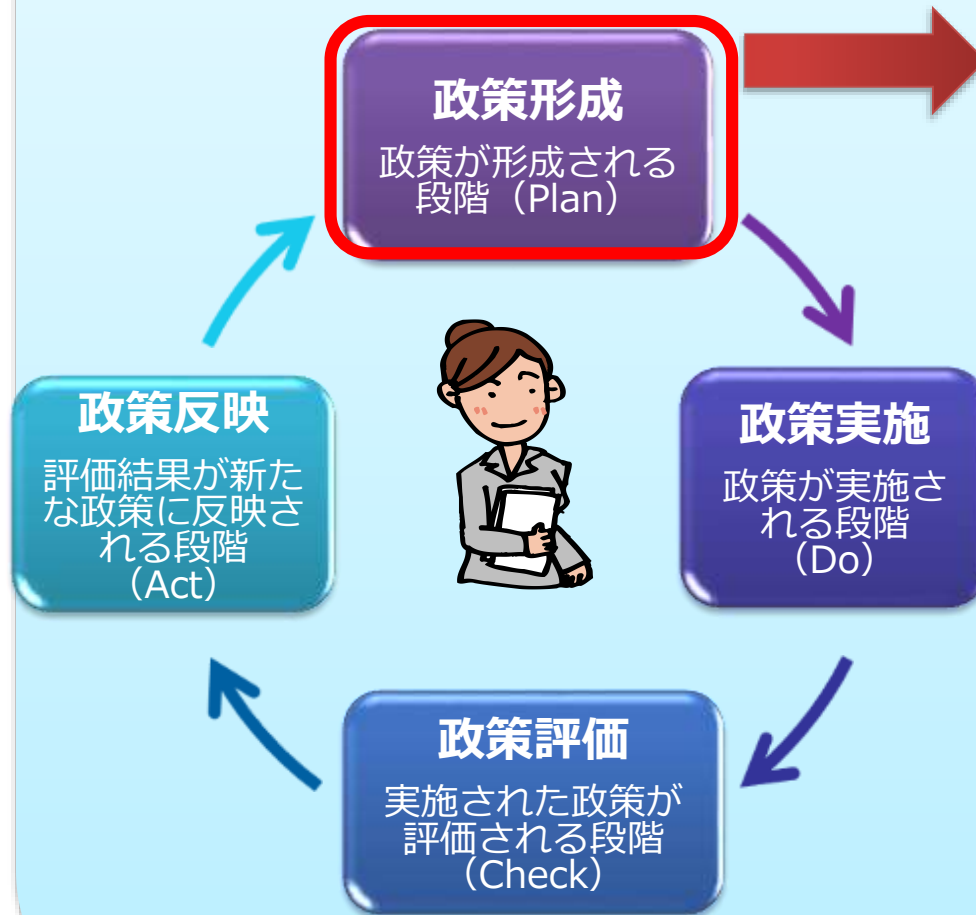
2019年●月●日(●)

医政局看護課

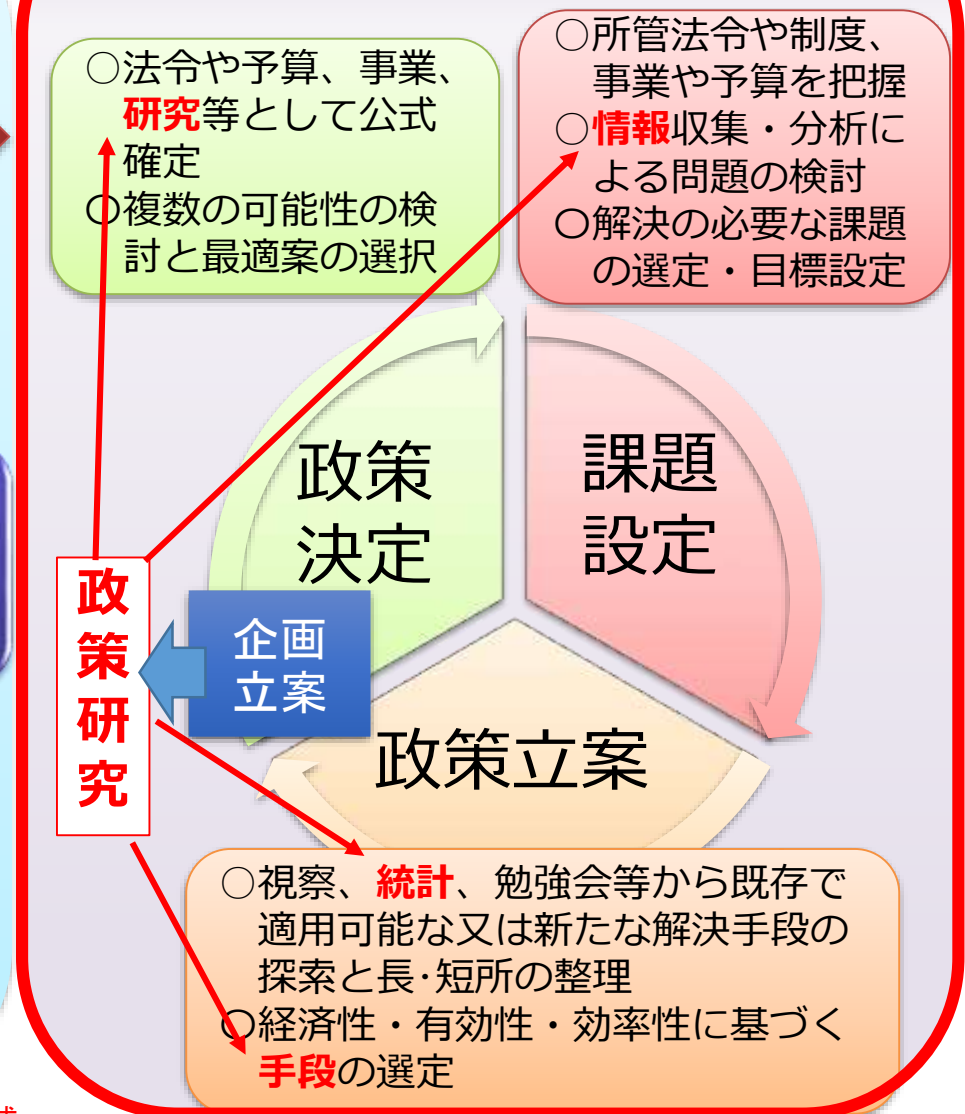
関根 小乃枝

政策形成過程における看護系技官の役割

政策過程



政策形成過程



“政策”の契機と実現ツール

【政策の契機】

- ・ 厚生労働行政を取り巻く社会情勢の変化
(人口構造、国民のニーズ、制度の持続可能性のための給付と負担の在り方など)
- ・ 定期的な契機 (毎年の予算、診療報酬改定、介護報酬改定など)
- ・ 見直し規定など (法律の附則・附帯決議、国会質疑)
- ・ 事件、報道
- ・ 他律的な契機 (地方分権、規制改革など)

**看護系技官が
関与**



【政策の実現ツール】

政策

政策の実現ツール

ココロ

ビジョンを示す
技術的支援・助言
情報公開
広報 (先進的取組を全国で共有等)

ルール

法的規制
基準・評価指標

カネ

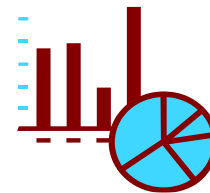
予算
事業の実施
補助金
研究費
診療・介護報酬



行政官に求められる役割



患者や家族の
要望を知り



エビデンスを収集 &
活用し

医療現場や研究者
の声を聞き



行政官なら、
社会をよくするために



対策を立案し、
関係者の意見を
まとめ、



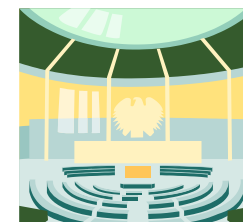
予算獲得に頑張り



国民への広報に努める



専門家に取組を依頼し



議会に説明し

実態を把握し、所管する 制度等の課題を抽出

看護の
視点

患者や家族の
要望を知り



医療現場や研究者
の声を聞き



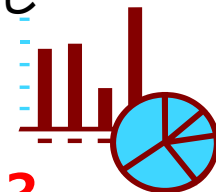
国民への広報に努める



エビデンスを収集&活用し



看護の
視点



①何故&どのツールで行うか？

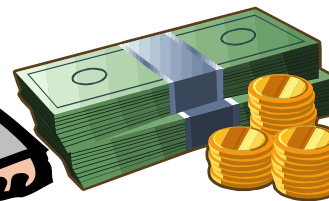
②成果をどう政策に反映するか？



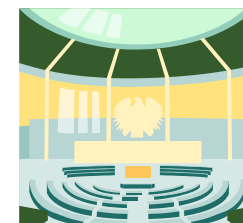
看護系技行政官なら、
社会をよくするために



対策を立案し、
関係者の意見を
まとめ、



予算獲得に頑張り



議会に説明し



専門家に取組を依頼し

看護系技官に求められる能力

➤ 日本語能力

⇒語彙力・表現力・読解力・要約力・理解力

➤ コミュニケーション能力

⇒挨拶・口調・簡潔・明瞭・聞く・話す・表情・プレゼン



➤ 企画・調整能力

⇒課内・局内・他部署・他省庁・自治体・関係団体・政治家等

➤ 資料作成能力

⇒PCスキル・デザイン力・イメージや思考の具現化・色彩感覚

➤ 情報収集能力

⇒教育機関・マスメディア・臨床現場・有識者(勉強会や科研等)・関係団体・政治家・研修生(自治体、病院、企業等)

➤ 研究能力

⇒調査／研究設計・研究立案時の説明・研究班会議での研究者との研究内容、方法、進捗等に関する助言 等



看護技術開発研究をめぐる現状と課題



現状：研究費は、iPS細胞等を含む再生医療等といった話題性・将来性のある分野に重点配分される傾向にある。

成長戦略の一環で毎年策定される「科学技術イノベーション総合戦略」や2017年2月に一部見直された「健康・医療戦略」では、AI、ネットワーク技術、ビッグデータ解析等の強化として、革新的な基礎研究から社会実装までのAI研究開発の促進、高精細映像技術、高度な先端情報通信技術（AI技術、ビッグデータ関連技術を含む）、センシング技術等の医療分野への応用の促進等が示され、関連するテーマに多額の研究費が投入される可能性が高い。

一方で、前述のような科学技術を活用した看護技術開発やプログラム開発等の科研やAMED等の研究費を獲得できる看護領域の研究者が限られている。また、看護系技官の役割認識の不足等による厚生労働科学研究の公募立案件数の低迷している。

課題：今後、厚労省、文科省、経産省、総務省、AMED、JST（科学技術振興機構）、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）、産総研、理研等において科学技術に関する公募が加熱することが予想されるが、このままでは当該分野における看護研究者による研究費の不獲得や研究の遅れが懸念される。また、看護研究者が公募申請できる政策研究課題の企画立案の増加が必要である。

AMED所属の看護系技官の立場から発信できることには限界も。厚労省の看護系技官としてならば、もっと貢献できることがあるのではないかと？



平成29年度研究費獲得プロジェクト

目的：看護領域で科学技術を活用して開発が可能な看護技術や開発力のある研究者を探索するとともに、当該分野における看護研究を推進するための方策を検討する

方法：

- 1) IoTやAI等を用いた技術開発に携わる研究者にヒアリングを行い、看護領域における技術開発に関する研究の現状及び今後の可能性を整理する
- 2) 1)の結果をふまえ、看護領域における技術開発に関する研究を推進するために看護系技官として実施できる方策を検討する



方策①：省内向け

看護領域で科学技術を活用した看護技術開発に関連する研究を立案できそうな省内部署にいる看護系技官にヒアリングを行い、研究費獲得等に関する現状及び課題を把握 ⇒ の実施

方策②：省外向け（研究者、学会、関係団体）

主要団体（JANPU、JANA、JANS、JNA）の理事会等に出向き、厚生労働科学研究及びAMED研究の仕組みや、研究費獲得に向けた団体としての動き（学術集会での研究関連テーマの設定及び講師招聘、委員会や研修を通じた戦略的活動等）を依頼 ⇒ に参加

メンバー：厚生科学課及びAMEDの経験者及び現任

→ 関根 の5名

研究成果を行政施策に結びつけるために必要なこと①

平成27年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業

「厚生労働科学研究における研究成果のアウトカム評価の指標及び手法の開発に関する研究」 尾島俊之

【行政側に必要なこと】

- 今後の行政施策に必要なことを明らかにし、その上でどのような研究が必要か検討すること
- 行政施策に必要な研究が実施されるよう、募集時の研究課題設定を適切に行うこと
- 施策に活用できることが一定程度見通せる研究を採択すること
- 採択後は、研究班会議などに参加し、研究者と情報共有を行い、施策への反映可能性等についてディスカッションを行うこと



研究成果を行政施策に結びつけるために必要なこと②

平成27年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業

「厚生労働科学研究における研究成果のアウトカム評価の指標及び手法の開発に関する研究」尾島俊之

【研究者側に必要なこと】

- 立案段階において、施策への反映を見据えて研究目的・方法や研究組織を計画すること
- 研究計画における役割を各分担研究者が遂行するよう、プロジェクトマネジメントを適切に行うこと
- 得られた研究成果が今後の行政施策上何を示唆しているか等を行政担当者にわかりやすく班会議や報告書等で説明すること
- 研究班会議等を通じて、行政担当者側と緊密な連携をとり、情報共有及びコミュニケーションを図ること
- 行政施策に必要なデータ等を適宜提供できるようにしておくこと



- 科学技術調整官等メーリングリストによって募集開始等の連絡を周知
メーリングリスト：各局科学技術調整官
（医系技官）
その他、各局窓口となる人
（各課の状況による。
看護技官が含まれる課もある。）
- メーリングリストのメンバーが窓口となり、各局関係課に情報提供される

厚生労働科学研究成果データベース



厚生労働科学研究の研究成果を広く国民に情報公開するための方策の一つとして、厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の概要版（抄録）と画像ファイルで取り込んだ報告書本文をデータベース化して、インターネット上で閲覧、検索等を行うことができるデータベースを作成している。

平成11年3月29日より運用を開始し、随時、データの充実に努めている。



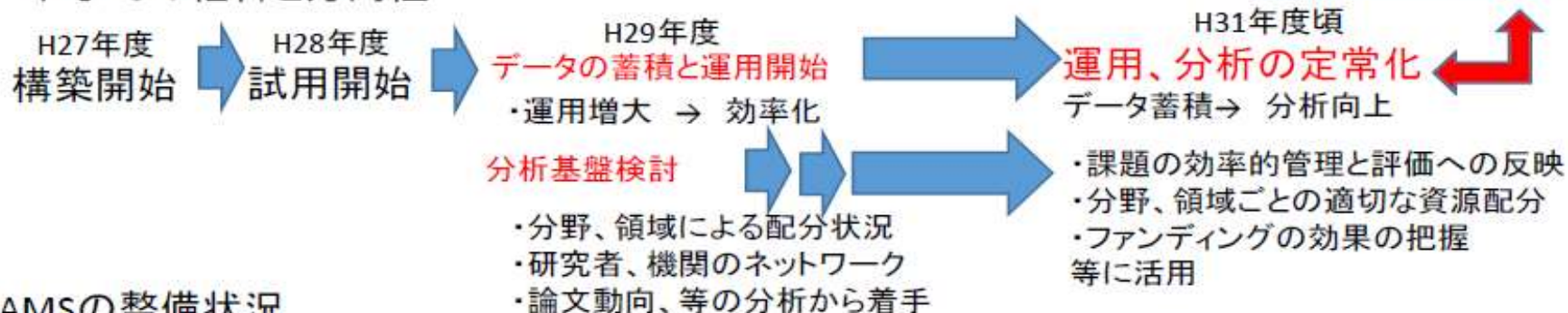
○厚生労働科学研究成果の登録件数
(平成29年4月26日現在)

・ 報告書本文 27,368件

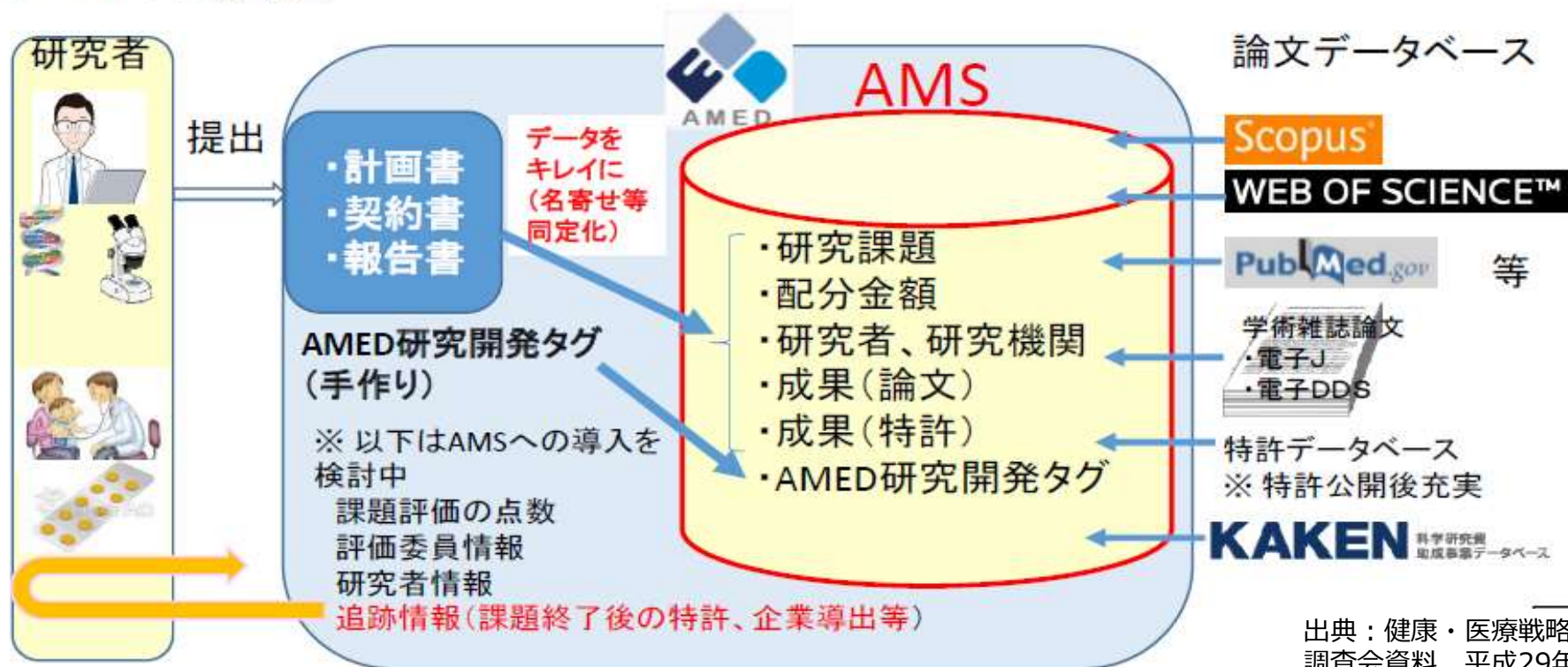
〔国立保健医療科学院ホームページ : <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>〕

A MED Management System (AMS)

◆ これまでの経緯と方向性



◆ AMSの整備状況



出典：健康・医療戦略推進専門
調査会資料 平成29年6月1日

【研究の立案】

- 研究課題の検討 → 同様の研究がされていないか調べる
※研究の独創性や新規性を確認
- 研究者の検索 → 類似の分野で研究を行っている研究者や分担者を
探す（若手？、経験豊富？）

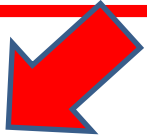
【研究成果の検索】

- 課題の設定、対応策の検討等の際に成果を検索し、根拠とする
- 診療報酬改定や介護報酬改定等におけるエビデンスとなる成果を探し、研究者からの情報収集、ヒットした論文を中医協や介護給費分科会等で使うために資料化する

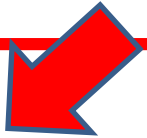
※有償のDBとして看護課で契約している**JDreamⅢ**も使用可能だが、PubMedや医中誌等他のDBを使用したい場合、文献を入手したい場合は、OB・OGや家族等で大学の教員に依頼することもある

厚労科研の審査項目と観点（公募要項より抜粋）

（１）専門的・学術的観点からの評価に当たり考慮すべき事項

- ア 研究の厚生労働科学分野における重要性
 - ・ 厚生労働科学分野に対して有用と考えられる研究であるか
 - イ 研究の厚生労働科学分野における発展性
 - ・ 研究成果が厚生労働科学分野の振興・発展に役立つか
 - ウ 研究の独創性・新規性
 - ・ 研究内容が独創性・新規性を有しているか
 - エ 研究目標の実現性・効率性
 - ・ 研究期間の各年度毎の目標が明確か
 - ・ 実現可能な研究であるか
 - ・ 研究が効率的に実施される見込みがあるか
 - オ 研究者の資質、施設的能力
 - ・ 研究業績や研究者の構成、施設の設備等の観点から、遂行可能な研究であるか
 - ・ 臨床研究の場合は、疫学・生物統計学の専門家が関与しているか
- 

（２）行政的観点からの評価に当たり考慮すべき事項

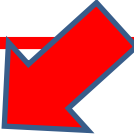
- ア 政策等への活用（公的研究としての意義）
 - ・ 施策への直接反映の可能性あるいは、政策形成の過程などにおける参考として間接的に活用される可能性
 - ・ 間接的な波及効果などが期待できるか
 - ・ これら政策等への活用がわかりやすく具体的かつ明確に示されているか
 - ・ 社会的・経済的効果が高い研究であるか
- 

イ 行政的緊急性

厚労科研の審査項目と観点（公募要項より抜粋）

（３）効率的・効果的な運営の確保の観点からの評価に当たり考慮すべき事項

効率性が確保されない場合、研究計画の見直しを条件とする。

- ・ 研究が効果的・効率的に実施（計画）されているか
 - ・ 他の民間研究などにより代替えできるものではないか
 - ・ 研究の実施に当たり、他の公的研究・民間研究などとの連携や活用が十分に図られているか（他の公的研究・民間研究や過去の成果などの活用、共同研究とすることなどによる研究効率や効果の向上の余地がないか）
- 

（４）総合的に勘案すべき事項

ア いずれの観点の評価においても、各府省や学会の定める倫理指針に適合しているか、又は倫理審査委員会の審査を受ける予定であることを確認する等により、研究の倫理性について検討する。

イ 研究代表者及び研究分担者のエフォート等を考慮する。

ウ これまで研究実績の少ない者（若手研究者等）についても、研究内容や計画に重点を置いて的確に評価し、研究遂行能力を勘案した上で、研究開発の機会が与えられるように配慮する。

エ 申請者に対してヒアリングを実施する場合は、上記の評価事項の他、申請課題に対する研究の背景、目的、構想、研究体制及び展望等についても説明を求めるものとする。

AMED研究の公募にかかる書面審査の評価

- ・ 課題の事前評価は、公募に応じて提出された研究開発提案書の中から、AMEDが支援する課題を選定するための、重要なプロセスです。研究開発提案書を基に書面審査が行われ、さらに必要に応じてヒアリングが行われます。

- ・ 事前評価は、総合評価を含む評価項目を設定して行われます。

(大項目の例)

①事業趣旨等との整合性、②科学的・技術的な意義及び優位性、

③計画の妥当性、④実施体制、⑤所要経費、

⑥事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目、⑦総合評価

- ・ 総合評価は、原則として、10段階評価で行われます。各委員には「採択してよい」と評価する場合に6点以上を、「採択すべきでない」と評価する場合に5点以下を付けていただきます。各委員の総合評価の平均が、評価委員会の評価となります。

10	Exceptional 並外れて優れている	5	Fair やや良い
9	Outstanding 極めて優れている	4	Marginal 良いとも悪いともいえない
8	Excellent 大変優れている	3	Poor 劣っている
7	Very good 優れている	2	Very poor 非常に劣っている
6	Good 良い	1	Extremely Poor 極めて劣っている

AMED作成

AMED研究の公募要領＜審査項目と観点＞ →審査基準を確認

審査項目と観点

本事業における課題の採択に当たっては、提案書類について以下の観点に基づいて審査

します。分担機関を設定した研究開発課題を提案する場合は、研究開発を遂行する上での

分担機関の必要性と、分担機関における研究開発の遂行能力等も評価の対象となります。



(a) 事業趣旨等との整合性

- ・事業趣旨、目標等に合致しているか

(b) 科学的・技術的な意義及び優位性

- ・独創性、新規性、革新性を有しているか
- ・社会的ニーズに対応するものであるか
- ・医療分野の研究開発の進展に資するものであるか
- ・新技術の創出に資するものであるか

● 応募条件の確認

● 競合との対比

審査基準に合致する応募内容であるか、各項目について審査されます。

AMED研究の公募要領＜審査項目と観点＞

→審査基準を確認

●研究規模、研究体制の調整 (他研究との連携を含む)

(c) 計画の妥当性

- ・ 全体計画の内容と目的は明確であるか
- ・ 年度ごとの計画は具体的なものでかつ、実現可能であるか
- ・ 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか

(d) 実施体制

- ・ 申請者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか
- ・ 現在の技術レベル及びこれまでの実績は十分にあるか
- ・ 必要に応じた十分な連携体制が構築されているか
- ・ 申請者等のエフォートは適切であるか
- ・ 不合理な重複／過度の集中は無い

(e) 所要経費

- ・ 経費の内訳、支出計画等は妥当であるか

(f) 事業で定める項目および総合的に勘案すべき項目

Summary of Proposal

* Please limit this “Summary of Proposal” form to two (2) pages.

1. Project title

2. Principal investigator

Name

Sex

Researcher Number (8 digits)

Date of birth / / (YYYY/MM/DD)

Affiliation

Department

Position title

E-mail address

AMEDも段階的に英語化を遂行

3. Abstract (400 words maximum)

Outline your research proposal, mentioning the anticipated results, in 400 words or less.

4. Keywords (10 items maximum)

List as many as 10 terms that most likely represent the essence of the proposed research.

5. Publications list(10 items maximum)

List as many as 10 peer-reviewed articles published in English in reverse chronological order (most recent first), and specify the most relevant one(s) with an asterisk(s)()*

看護系技官に求められる役割(例)

- 所属部署の所管する法令や制度等を理解し、政策実現ツールとして、どのような事業や予算があるか把握する
- 所管する制度等に関する現場（病院、教育機関、訪問看護事業所等）、患者や家族等から情報収集を行い、現状を把握する
- 現状を看護の視点から分析し、課題を抽出し、スケジュール感も含め、解決策を検討する
- 情報に不足がある場合や、制度改正や制度創設が必要な場合、そのエビデンスを何故&どのツールで収集するのか検討する
- 適切な収集法（厚労科研、事業費等）を選択し、実施に向けて予算の確保等必要な準備を行う ※成果の活用イメージは明確に!!

⇒厚労科研

①

②

③

④

⇒課内事業費

①

②

具体的な作業及び作業上の留意事項

- 想定した成果が確実に得られるよう、進捗管理の中で研究者等に必要な助言を行い、最終的には成果を活用し、評価として研究者にフィードバックする

※看護研究者から所管と異なる内容の研究費申請の質問・相談がきた場合、内容に応じ該当部署にいる看護技官につなぐ



自部署の施策、担当事業等の現状 及び課題の把握や抽出

現状把握

- 担当施策や事業の実施状況をデータ等で確認
- 設定した目標の達成状況及び将来の方向性を確認

課題抽出

- 担当施策や事業における課題を抽出
- 課題となっている背景や要因を検討

対策検討

- 解決に向けた対策の検討
- 厚労科研で解決すべきと考えられる課題を抽出

- ・政策：行政の方針や方向性を政府等が掲げたもの（行政評価法第2条）「医療提供体制の確保（例）」
- ・施策：実施すべき策、または、策を実行すること「看護職員の離職防止・復職支援（例）」

厚労科研の公募課題立案に向けたプロセス

1. 課題及び解決方法の検討

○課題の整理

○対応案の作成(課の事業(補助、委託)か、研究(厚労科研(公募型(1次、2次、3次)か、指定型か、既存研究班への追加交付か)、AMED)か)

作業上の留意事項や準備すべき事項等

2. 研究の企画立案

○研究者の選定及び研究費・研究期間の設定

○省内提出様式(Excel表)作成:

作業時期

作業上の留意事項や準備すべき事項等

3. 省内ヒアリング

○省内ヒアリング

作業時期

○厚生科学審議会(科学技術部会):5月下旬(**実施事項**)

作業上の留意事項や準備すべき事項等

4. 公募要項作成 **作業**

○公募要項の作成

作業時期

○e-Radシステムへの登録

作業時期

作業上の留意事項や準備すべき事項等

5. 公募の開始 (12月中)

○関係者へ公募開始のお知らせ(研究内容の相談に関する研究者との接触は不可)

○事前評価委員会(評価結果をもとに基準額通知後、研究開始)

作業上の留意事項や準備すべき事項等

※次年度5月末までに報告書の提出、8月頃に事後評価委員会が開催される。

経験及びスケジュールを参考に
研究者作成

AMED研究の公募課題立案に向けたプロセス

1. テーマ及び公募方法の検討

○公募テーマの選定(

作業

作業

○研究類型の検討(公募型か、若手育成型か、既存研究班への追加交付か、調整費か)

作業上の留意事項や準備すべき事項等

2. 研究の企画立案

○課題数・研究費・研究期間の設定(

作業時期

作業上の留意事項や準備すべき事項等

3. ヒアリング

○内閣官房健康・医療戦略室

作業時期

作業上の留意事項や準備すべき事項等

4. 公募要項作成

○公募要項の作成 **作業時期**

○e-Radシステムへの登録: **作業時期**

作業上の留意事項や準備すべき事項等

5. 公募の開始 (10～1月)

○関係者へ公募開始のお知らせ(研究内容の相談に関する研究者との接触は不可)

○事前評価委員会開催に向けた準備(評価結果をもとに採択結果通知後、研究開始)

作業上の留意事項や準備すべき事項等

※次年度5月末までに報告書の提出、10月頃に事後評価委員会が開催される。
経験及びスケジュールを参考に
研究者作成

採択された課題の具体例

厚生労働科学特別研究事業

＜課題採択方針＞（平成28年度作業依頼より）

実際の作業依頼

採択された課題の具体例

看護系技官の問い合わせ窓口

- 厚生労働省科学研究の仕組み・公募立案・研究費獲得方法等、研究者や評価委員等の紹介 等
 - **大臣官房厚生科学課 科学技術調整官**
Email : **名前や連絡先**
- AMED研究の仕組み・公募立案・研究費獲得方法・研究者からの研究相談等
 - **日本医療研究開発機構（AMED）
戦略推進部難病研究課**
直通 : **名前や連絡先**
Email **名前や連絡先**
- 看護研究者による研究費獲得推進プロジェクトの取組み、研究費等の活用に関する看護系技官の役割、研究者等の紹介 等
 - ①**医政局看護課 教育体制推進官**
Email : **名前や連絡先**
 - ②**保険局保険局高齢者医療課
保健事業推進専門官**
Email : **名前や連絡先**

【第 2 回事後テスト】

ID ()

各問の文章を読んで、講義内容に照らして□に最もふさわしい言葉を選択肢の中から選び、番号をご記入ください。(講義資料をご覧くださいても結構です)

<看護系技官の果たすべき役割と重要性>

問 1. □ A を政策実現ツールとして活用するのは看護系技官の役割の 1 つであり、それは政策過程の □ B に該当し、その過程で、看護系技官が政策研究を立案することは □ C のために重要であるとされる。

(選択肢)

- | | | | |
|-----------|---------|-------|-------|
| A : ①報道 | ②国民のニーズ | ③研究費 | ④職能団体 |
| B : ①政策実施 | ②政策評価 | ③政策形成 | ④政策反映 |
| C : ①看護界 | ②社会 | ③看護職 | ④高齢者 |

答 1. A () B () C ()

<研究の公募立案に向けた作業手順>

問 2. 第 1 段階としてまず、所属部署の □ D を整理し、解決方法として予算の必要な当該部署の調査事業等、AMED 研究ではなく、厚生労働科学研究というツールを選択する妥当性を吟味し、実施に関して所属課室長の下承が得られたら、ふさわしい □ E を検討する。第 2 段階として実際に研究テーマ、研究者、研究期間等の具体的な研究の □ F を行うための書類の作成に着手する。第 3 段階では、□ F した内容について省内関係者に必要性等を説明する □ G の機会が設けられ、当日の説明や疑義への回答を行う。落選しなければ、第 4 段階では、□ H の作成を行い、公募開始に向けて準備を進める。AMED 研究にもほぼ同様の作業があるが、大きな違いは事前の □ I があるかないかである。

(選択肢)

- | | | | |
|--------------|---------|--------|-------|
| D : ①課題 | ②組織目標 | ③研究成果 | ④制度 |
| E : ①研究者 | ②研究類型 | ③研究期間 | ④評価委員 |
| F : ①交付決定 | ②事前評価 | ③応募申請 | ④企画立案 |
| G : ①ミーティング | ②委員会 | ③ヒアリング | ④公開審査 |
| H : ①評価項目 | ②スケジュール | ③研究計画書 | ④公募要項 |
| I : ①研究者との調整 | ②必要書類 | ③評価委員会 | ④説明会 |

答 2. D () E () F () G () H () I ()

(次ページに続く)

＜研究計画書の評価基準＞

問3. 厚生労働科学研究の事前評価委員会での研究計画書の審査基準が公募要項に記載されているが、専門的・学術的観点からの評価に当たり考慮すべき事項として、5つあげられているが、そのうち重要であるのが 、、 である。行政的観点からの評価に当たり考慮すべき事項として最も重要なのは、 である。一方、AMED の評価基準は、厚生労働科学研究と異なり、事業趣旨等との 、科学的・技術的な 、計画の 、 が重視される。

(選択肢)

- | | | | |
|--------------|----------|----------|---------|
| J: ①希少性・革新性 | ②独創性・新規性 | | |
| K: ①実現性・効率性 | ②公平性・広範性 | | |
| L: ①研究機関の資金力 | ②研究者の資質 | ③研究機関の規模 | ④研究者の職位 |
| M: ①実現可能性 | ②国民等のニーズ | ③政策等への活用 | ④国際競争力 |
| N: ①整合性 | ②融合 | ③独立性 | ④依存性 |
| O: ①安心 | ②根拠 | ③信頼 | ④意義 |
| P: ①信頼性 | ②妥当性 | ③公平性 | ④再現性 |
| Q: ①資金力 | ②実施体制 | ③研究方法 | ④研究実績 |

答3. J () K () L () M () N ()
 O () P () Q ()

以上です。ご協力ありがとうございました。

【第2回受講後アンケート】

2019 年●月●日 ID ()

本日はお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。

本日の内容に関する以下の問いについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1) 本日の説明内容はどの程度分かりやすかったですか。

1. 非常に分かりやすかった 2. やや分かりやすかった 3. ふつう
4. やや分かりにくかった 5. 非常に分かりにくかった

2) 政策形成過程における看護系技官の役割について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

3) 研究成果を施策に結びつけるため行政及び研究者に必要なことは理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

4) 看護系技官が研究費を獲得（公募立案）する必要性について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

5) 研究に関して看護系技官に求められる能力や役割について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

6) 厚生労働科学研究や AMED 研究の評価基準について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

7) 厚生労働科学研究や AMED 研究の公募立案の作業手順について理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

8) 看護系技官の相談窓口について知ることができましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

(次ページに続く)

第3回 DNPプロジェクト研究 「厚生労働科学研究の公募課題立案に 必要な書類作成のポイント」



2019年●月●日(●)

医政局看護課

関根 小乃枝

※資料出典:厚生労働省

* 一部、看護系技官の業務の詳細に関して機密性の高い内容についてはマスキングを実施

記載のポイント

* 機密性の高い内容のためマスキング

平成30年度 厚生労働科学研究費補助金公募要項（1次）例

（1）研究課題名

看護師等養成所における教育カリキュラム開発及び教員等の能力育成のための研究

（2）目標

「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」（平成29年4月）において、多様かつ複雑な患者の医療・生活ニーズに寄り添い、多職種と連携しながら患者のケアを中心的に担える看護職員が求められており、卒前教育における教育カリキュラムの拡充の必要性が示されている。看護師等養成所において、領域横断的カリキュラム等といった各養成所の独自性のあるカリキュラム開発を行っている例はあるものの、開発が困難な養成所も少なくない。今後求められる看護職員養成のために、各養成所におけるカリキュラム開発、また、カリキュラム開発を行うことができる教員育成のための指針を作成することを目標とする。

（3）求められる成果

- ・看護師等養成所におけるカリキュラム開発について、実態及び課題を量的・質的調査から明らかにし、各養成所におけるカリキュラム開発の指針を作成する。
- ・指針は、カリキュラム開発を行うことができる教員を育成するための手引きとして、また、養成所の指定・監督権限を有する都道府県が養成所のカリキュラムに関して指導を行う際の手引きとしても活用できるものとする。

（4）研究費の規模等

研究費の規模： 1 課題当たり年間6,500～7,000 千円程度（間接経費を含む）

研究実施予定期間： 最長 1 年間 平成30 年度

新規採択課題予定数： 1 課題程度

（5）採択条件（【 】内は条件を満たしていることを示す書類等）

- ・看護師等養成所における領域横断的なカリキュラム等の開発に携わる（もしくは携わった経験を有する）者および都道府県における看護等養成所の指導に携わる（もしくは携わった経験を有する）者が研究分担者もしくは研究協力者に含まれていること。

平成29年度 厚生労働科学研究費補助金公募要項（3次）例

（1）研究課題名

医療従事者養成課程における B 型肝炎に関する効果的な教育方法についての研究

（2）目標

平成 29 年度末までに、医療従事者養成課程において広く活用可能な、B 型肝炎に関する教育を行うための教育資材を開発し、教育展開例やその評価指標を提案することを 目標とする。

（3）求められる成果

できるだけ明確に⇒

記載上のポイントを記載

- ・医療従事者養成課程において広く活用可能な、B 型肝炎に関する正しい知識の教授及び偏見・差別予防の教育（感染拡大の歴史的な事実の教授を含む）を行うための教育資材（リーフレット、動画、e-learning 等）の開発。
- ・作成した教育資材を用いた、医療従事者養成課程における B 型肝炎教育の展開例（患者・家族の声を聞く機会を含む）の提案。
- ・各養成施設において教育資材や教育展開例の改善を継続して行うための評価指標等の提案。

（4）研究費の規模等

研究費の規模：年間 5,000 千円程度（間接経費を含む）

研究実施予定期間：最長 1 年間 平成29年度

新規採択課題予定数： 1 課題程度

記載した背景を記載

（5）採択条件（【 】内は条件を満たしていることを示す書類等）

- ・医療従事者養成課程における教育に精通した者を複数職種含んだ研究班体制が構築されていること（看護師、臨床検査技師、歯科衛生士の有資格者について、研究分担者もしくは研究協力者に必ず含めること。）。

⇒ **結果どのようになり、どのような課題が生じたか**

研究課題名

目標

求められる成果

研究費の規模等

採択条件

記載のポイント

* 機密性の高い内容のためマスキング

【第3回受講後アンケート】

2019 年●月●日 ID ()

本日はお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。

本日の内容に関する以下の問いについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1) 本日の説明内容は、どの程度参考になりましたか。

1. 非常に参考になった 2. 少し参考になった 3. どちらともいえない
4. あまり参考にならなかった 5. 全く参考にならなかった

2) 発表準備を通して、自部署の施策や制度の課題について抽出できましたか。

1. とてもできた 2. 少しできた 3. どちらともいえない
4. あまりできなかった 5. 全くできなかった

3) 発表後のプロジェクトメンバーや参加者からのコメントは、今後の必要書類作成の役に立ちそうですか。

1. とても立つと思う 2. 少し立つと思う 3. どちらともいえない
4. あまり立たないと思う 5. 全く立たないと思う

4) 厚生労働科学研究の立案で提出が必要な書類の作成ポイントについて理解できましたか。

1. とても理解できた 2. やや理解できた 3. どちらともいえない
4. あまり理解できなかった 5. 全く理解できなかった

5) 講師の資料を説明しているときの声の大きさはどうでしたか。

1. とても聞き取りやすかった 2. やや聞き取りやすかった
3. どちらともいえない 4. あまり聞き取れなかった 5. 全く聞き取れなかった

6) 講師の資料を説明するスピードはどうでしたか。

1. とても速かった 2. やや速かった 3. ちょうどよかった
4. やや遅かった 5. とても遅かった

7) 1回の講義時間 50 分の設定はどうでしたか。

1. とても長かった 2. やや長かった 3. ちょうどよかった
4. やや短かった 5. とても短かった

8) 講義資料の見やすさはどうでしたか。

1. とても見やすかった 2. やや見やすかった 3. どちらともいえない
4. やや見づらかった 5. とても見づらかった (次ページに続く)

模擬公募要項記載用紙

ID ()

R●年度 公募研究課題

(1) 研究課題名

●●●の研究

(2) 目標

●●●

(3) 求められる成果

.
.

(4) 研究費の規模等※

研究費の規模： 1 課題当たり年間 ●, ●●●～●, ●●●千円程度※（直接経費：物品費●千円、旅費●千円、人件費・謝金●千円、その他●千円、間接経費：●千円）

研究実施予定期間： 最長●年間 ●年度～●年度

新規採択課題予定数： ●課題程度※

※ 研究費の規模等はおおよその目安となります。研究費の規模及び新規採択課題予定数等については、今後の予算成立の状況等により変動することがあります。

(5) 採択条件（（ ）内は条件を満たしていることを示す書類等）

.
.

【対象者○：模擬公募要項評価票（研究者用）】

ご自身が厚生労働科学研究の本模擬公募要項をみて、実際に申請書類（研究計画書等）を準備する想定でご回答ください。

Q1：研究課題名は明確で分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q2：目標は明確で分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q3：費用の設定額は妥当であると考えられるか。

1. 妥当だと思う 2. 妥当でないと思う（理由： _____ ）
3. 分からない

Q4：研究期間の設定（長さ）は妥当か。

1. 妥当だと思う 2. 長すぎる 3. 短すぎる 4. どちらともいえない

Q5：成果物は説明を受けなくても明確でイメージしやすいか。

1. 非常にイメージしやすい 2. ややイメージしやすい 3. どちらともいえない
4. ややイメージしにくい 5. 非常にイメージしにくい

Q6：求められている採択条件は分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q7：採択条件は目的や成果物と照らして妥当か。

1. 妥当である 2. 妥当でない(理由: _____)
3. どちらともいえない

Q8：お気づきの点や改善すべき点などがございましたら、今後、看護系技官として公募課題の立案に携わる際の参考になりますので、ぜひ、ご記入ください。

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

【対象者○：省内提出様式及び模擬公募要項評価票（指導者用）】

担当指導者として省内提出様式及び模擬公募要項をみて以下の質問の回答のうち、最も当てはまる番号に○をご記入ください。

【書類の評価】

Q1：研究課題名は明確で分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q2：目標（目的）は明確で分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q3:費用の設定額は妥当である（根拠がある）と考えられるか。

1. 妥当だと思う 2. 妥当でないと思う（理由： _____）
3. 分からない

Q4：研究期間の設定（長さ）は妥当か。

1. 妥当だと思う 2. 長すぎる 3. 短すぎる 4. どちらともいえない

Q5：成果物は説明を受けなくても明確でイメージしやすいか。

1. 非常にイメージしやすい 2. ややイメージしやすい 3. どちらともいえない
4. ややイメージしにくい 5. 非常にイメージしにくい

Q6：求められている採択条件は分かりやすいか。

1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q7：採択条件は目的や成果物と照らして妥当か。

1. 妥当である 2. 妥当でない（理由： _____）
3. どちらともいえない

Q8：省内提出様式及び模擬公募要項の２つの整合性はとれていますか。

1. 非常にとれている 2. ややとれている 3. どちらともいえない
4. ややとれていない 5. 全くとれていない

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

【当日のプレゼン評価】

Q9：当日の説明は分かりやすかったですか。

- 1. 非常に分かりやすい 2. やや分かりやすい 3. どちらともいえない
- 4. やや分かりにくい 5. 非常に分かりにくい

Q10：当日の説明には説得力はありましたか。

- 1. 非常にあった 2. ややあった 3. どちらともいえない
- 4. ややなかった 5. 非常になかった

Q11：質疑応答に対応できていましたか。

- 1. 非常にできていた 2. ややできていた 3. どちらともいえない
- 4. ややできていなかった 5. 全くできていなかった

Q12：気が付いた点や改善すべき点などがございましたら、自由にご記載ください。

【第4回受講後アンケート】

2019年●月●日 ID ()

本日はお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。

本日の内容に関する以下の問いについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1) 今回の演習は、将来的な公募立案に必要な Excel 様式の作成に役立ちそうですか。
 1. とても役立つと思う
 2. 少し役立つと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立たないと思う
 5. 全く役立たないと思う
- 2) 今回の演習は、将来的な公募要項の作成に役立ちそうですか。
 1. とても役立つと思う
 2. 少し役立つと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立たないと思う
 5. 全く役立たないと思う
- 3) このような発表の機会は、実際の省内ヒアリング等の説明に役立ちそうですか。
 1. とても役立つと思う
 2. 少し役立つと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立たないと思う
 5. 全く役立たないと思う
- 4) プロジェクトメンバーや参加者からのコメントは、今後の書類作成や説明に役立ちそうですか。
 1. とても役立つと思う
 2. 少し役立つと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立たないと思う
 5. 全く役立たないと思う
- 5) 研究者の評価は、今後の書類作成や説明に役立ちそうですか。
 1. とても役立つと思う
 2. 少し役立つと思う
 3. どちらともいえない
 4. あまり役立たないと思う
 5. 全く役立たないと思う

以上です。ご協力ありがとうございました。

【第5回フォーカスグループインタビュー】

2019年●月●日

- 1) 今までに行ったプログラム内容の満足度（ニーズとの合致度）をお聞かせください。

- 2) 今回行った研究費や公募立案に関する内容の理解を最も助けたと感じる自身の経験は何ですか。
（大学院の修士課程での学修経験、大学での教員経験、病院勤務の際に研究に携わった経験等）

- 3) プログラム内容についてさらなる充実を図るためにはどのような内容を追加したらよいですか。

- 4) 実施方法（時間帯、集合形式、講義・演習形式、回数）についてどのように感じましたか。
※できれば改善方法まで聞く

- 5) 指導者の態度や助言内容、研究者からの評価といったご自身の演習内容への評価方法やフィードバック内容についてどのように感じましたか。

- 6) 今回のような研究に関する研修について、今後も実施する必要性をどのように考えますか。他に
取り上げてほしいテーマはありますか。

- 7) プログラム全体を通じて感じたことや伝えておきたいことはあれば、お聞かせください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

【学習プログラム受講後アンケート】

2019 年●月●日 ID ()

業務ご多忙の折、この度は本研究にご参加いただき、ありがとうございます。

以下の質問について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1) 厚生労働科学研究費と AMED 研究費の違いを説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

2) AMED の設立経緯と機能について説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

3) 厚生労働省と AMED の関係（役割分担など）について説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

4) 厚生労働省と AMED の年間スケジュールについて説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

5) 厚生労働科学研究の種類や追加交付の仕組みについて説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

6) 厚生労働科学研究や AMED 研究の DB の掲載場所や活用法について説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

7) 政策形成過程における看護系技官の役割について説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

8) 研究成果を施策に結びつけるため行政及び研究者に必要なことを説明できますか。

1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない

- 9) 看護系技官が研究費を獲得（公募立案）する必要性について説明できますか。
1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 10) 研究に関して看護系技官に求められる能力や役割について説明できますか。
1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 11) 厚生労働科学研究や AMED 研究の評価基準について説明できますか。
1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 12) 厚生労働科学研究や AMED 研究の公募立案の作業手順を説明できますか。
1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 13) 厚生労働科学研究の立案で提出が必要な書類の作成ポイントを説明できますか。
1. できる 2. ある程度できる 3. 少しできる
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 14) 自部署で担当する施策や制度の課題を抽出できますか。
1. 1人でできる 2. 少しの助言をもらえばできる 3. どちらともいえない
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 15) 課題をもとに、研究公募立案を行えますか。
1. 1人でできる 2. 少しの助言をもらえばできる 3. どちらともいえない
4. ほとんどできない 5. 全くできない
- 16) 研究公募立案に関する省内（厚生科学課からの）ヒアリングに対応できますか。
1. 1人でできる 2. 少しの助言をもらえばできる 3. どちらともいえない
4. ほとんどできない 5. 全くできない

以上です。ご協力ありがとうございました。